

### 昨今の活動「むさしの地球村」より

今回は、ビオトープの話ではなく、グループ関連活動団体「むさしの地球村」のお話。予定されています野外活動の日ではなかったのですが、いろいろと収穫や作業のタイミングがやってきてしまい・・・急遽臨時で作業をすることとなりました。



麦の生育が悪く刈ることにより、あまり膨らんでいないものの綺麗な形。ドライフラワーになるかな？「これがパンやうどんになるんだよ！」  
園児さんたちにも見せたいと思っています。  
枝葉は麦わら帽子に??? いえいえ、ヤギさんたちの貴重な餌に!



こちらはトウモロコシ。収穫期を迎えました。中には粒が揃っていないもの、ヤングコーンみたいなものもあります。



少し形が悪くだけで売り物にならず廃棄されてしまいますが、そんなのも生で食べると「甘〜い!」「フルーツみたい!」  
収穫したては美味しいですね。生の活動をする現場ならではの楽しみですが、いろんな人に味わってもらいたいなと。  
若いコーンも、焼いて塩や醤油をつけるととても美味。ビールが進みそうでした。



トウモロコシは可食部が少ないですね。ゴミとなっていく立派な茎や葉、これらもヤギさんの大好物!  
保護者の皆様の集まりで来ていた子どもたちと、餌をあげるふれあい体験ができました。





虫に食べられてるけど、皮をむくと、まだまだ充分食べられるキャベツ！子ども達は「もったいない！」と言ってくれました。そうですね。近隣の農家さんや畑をやっている皆様が、商品にならない野菜や、皮やつるなどのヤギの餌になるものを置いていって下さるのですが、回田小学校の給食室からも、調理で出る端材や、給食を終えた後のスイカやミカンなどの皮ゴミを、わざわざ運んで下さるようになっていっています。



草花や農作物の関係で、春は餌の調達に苦戦していたのですが、剪定や収穫も始まり、裏のヤギさん達の餌も豊富になってきました。今までは、剪定した枝葉や給食室から出る端材、芯や皮などの重量物が事業系の有料ゴミとなっていたのですが、それらが格段に減り、子ども達の癒しとともに、有益な効果をもたらしてくれたりも。なによりそんなヤギさんが、とても大切な地域のつながりを膨らませてくれているようにも感じられます。

そして、ヤギさんたちの住んでいる土ですが、時折堆肥置き場へ移動させます。そして分解を経て、科学的な成分などのない自然の堆肥となり、また、草木や作物を育ててくれるサイクルが、ここに生まれるに至りました。



どうして園の隣接、理事長先生の畑で作物を維持したり、ヤギさんを飼育しているのかの意味は、そういった環境が身近にあればあるほど、様々なシーンや、物事に関り、関係性などに、身近に触れられる機会が増えるのではという想いがありました。生物多様性を狙いに豊かな植栽を維持しているのも、ビオトープを作ったのもそうですね。色々な仕組みや効果が、体感的な経験として子ども達の記憶に残ってくると良いなと思っています。

← このバスの車庫の裏、コキアが群生している場所は、秋以降、小さなお子様たちが遊びやすい芝生の園庭になる予定の場所ですが、むさしの祭りの日は、こちらにヤギさん達を連れいく予定。可愛い姿を見てくださいね。

～ 小さく転んで大きく育てる ～

常に、土や木々、自然に触れ合う活動ですので、泥だらけになります。

水に濡れたりもします。時には小傷をつくってしまうことも。

しかしながら、色々なことを身をもって経験し、自ら考えることで、いざ親の手から離れたときに、危険な場所へ近づいたり、海や川で流されたり、山や崖で滑落したり、そういった事故に巻き込まれないように願うことはもちろん、自然のありがたさ、大切さ、素晴らしさを体感し、生き活きと自然との調和を楽しめる力をつけたり、また、様々な興味の広がり期待し、将来的な多分野への学びへの力へと繋がって欲しいとの狙いを持った団体です。ご参加の際は、ご理解ご協力のほど、宜しく願い申し上げます。



@MUSASHINO\_EARTH\_CLUB

むさしの地球村

(NPO 法人設立準備中)



【協力】



学校法人野澤学園  
東村山むさしの認定子ども園 GROUP  
<https://musashino-group.tokyo/>

